

デジタルコンテンツの流通における 知的財産権の課題

2004年12月16日

慶應義塾長

安西祐一郎

デジタルコンテンツの創造・流通における 大学の役割

知の創造サイクルの起点としての大学

革新的デジタルメディア技術研究

21世紀知識社会における知の創造と流通を先導

異分野知的情報の共有と国際連携によるコンテンツ創造

デジタル技術を用いた教育の実現

良質コンテンツ鑑賞機会の増加

デジタルコンテンツ創造環境の整備

自由な発想と創造活動の推進

社会にあまねく存在するコンテンツの積極的な発信

世の中の多大なコンテンツのデジタル化促進

日本からのデジタルコンテンツの国際発信

国際知財・国際流通の基盤構築

国際的産官学連携による新たな産業分野の創造

国際的産官学コンソーシアムの構築と共同研究

デジタルコンテンツに関する新産業の創造と育成

デジタルコンテンツ 研究と活用例



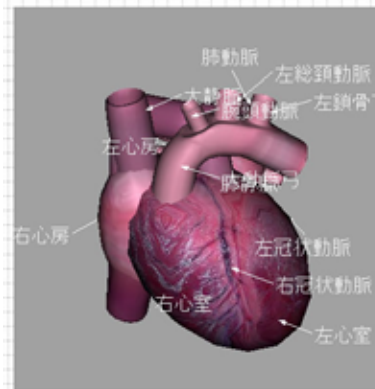
奈良絵本

eラーニング教材

デジタルシネマ(ハリウッド標準に採用)
3840 × 2048 image



グーテンベルク聖書



ボタンを押すと拍動します。

beat

ボタンを押すと停止します。

stop

LAJOYE Prayer
© 2000 J.P.

心臓の
基本的
構造

心臓は左右の肺にはさまれ、縦隔の前下部、横隔膜の上に位置している。大きさは手の拳と同じ位で、重さは約250～290gである。心臓の上端部が広くなっているが、この部分を心底と呼び、心臓の下端部は尖っており、その部分は心尖と呼ぶ。

心臓は四つの部屋から成り、四種類の血管が入り出している。左心室、左心房、右心室、右心房がある。心房には静脈が注ぎ、心室からは動脈が出ている。右心房には大静脈、左心房には肺静脈が注ぎ、右心室からは肺動脈、左心室からは上行大動脈が出る。



右心室

右心室は心臓の右上部を占め、その後部上方に下行大静脈が、その後部下方に上行大静脈が注いでいる。静脈が注ぐところは大静脈洞と呼ばれ、内面は平滑である。下行大静脈の注ぐところに三角形の右心耳があり、大動脈の起始部を覆っている。右心耳と大静脈洞の間には分界稜という境があるが、この分界稜にそって心臓の表面には分界溝が存在する。右心耳の内部表面は歯状の隆起が見られるが、これは僧帽筋によるものである。大静脈洞には、もう一つ開口があり、それは冠状静脈洞への開口である。左心房との間は心房中隔によって隔てられており、その中心には卵円窩がある。右心室との間は、三尖弁によって隔てられている。

デジタルコンテンツの流通における 知的財産権の課題

著作権の保護と流通の促進

企業・大学における契約慣行の改善・透明化の奨励
コンテンツ保護技術の研究開発の支援

戦略的国際標準化活動への積極的取り組み

標準化活動の重要性の普及啓発・標準化人材の養成
アジア諸国との連携による国際規格の共同研究の推進

インターネットを利用した著作権侵害取締りの強化

国境を越えた侵害に対する法執行体制の整備
ファイル交換ソフト等を用いた侵害に対する取締り強化